

平成28年産 秋冬野菜の需給・価格の実績

〈 目 次 〉

① 冬キャベツ	P. 2
② 秋冬だいこん	P. 4
③ たまねぎ	P. 6
④ 冬にんじん	P. 8
⑤ 秋冬はくさい	P. 10
⑥ 冬レタス	P. 12

1. 平成28年産冬キャベツの需給・価格の実績

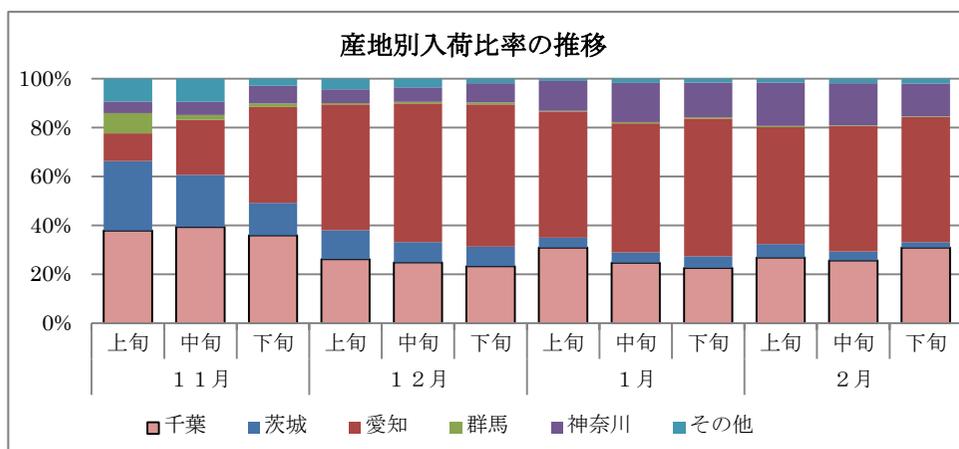
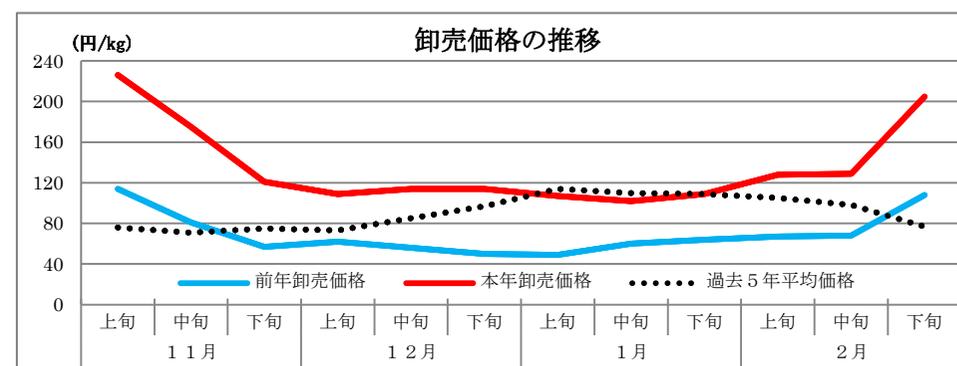
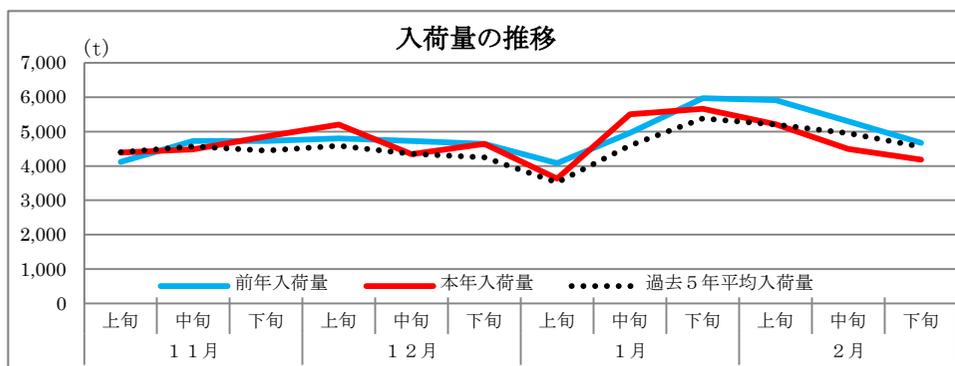
	前回の委員会(28.11.10)での見通し	実績(2月下旬時点)
冬キャベツ (11～3月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関東産地を中心に生育遅れが見られるため、12月の数量は平年より少ない見込み。1月以降は安定した出荷となる見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今年の気温は、ほぼ平年並か低いとの予報がでており、鍋物需要でははくさいが増加すると見込まれ、キャベツの増加は見込みにくい。 ● また、天候不順による高値継続予測で、買い控えが懸念されるが、簡便化ニーズの高まりでカットキャベツが増加する可能性がある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 9月の長雨・日照不足等により小玉傾向。年内は出荷数量は少なめで推移し、年明けからは回復傾向で、前倒し等の影響はあるものの、安定した出荷の見込み。このため、価格は、12月までは平年を上回り、1月以降は概ね平年並みとなる見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月は、主産地である千葉産等が、8月の台風および9月の曇雨天の影響による生育の遅れや正品率の低下により出荷量が減少する中、業務筋等の引きが強いため総入荷量は平年をわずかに上回った。 ● 12月は、主産地である千葉産等が、9月の天候不順の影響による生育遅れや、一部で病害も散見されて出荷量が減少する中、業務筋等の引きが強いため総入荷量は平年をやや上回った。 ● 1月は、主産地である愛知産が、天候に恵まれて生育は順調であったことから、総入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 2月は、主産地である愛知産が、1月中旬以降の気温の低下及び干ばつの影響により生育遅れとなったことから、総入荷量は平年をやや下回った。 ● 期間全体としては、平年をやや上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:103%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月及び12月は、出荷量が減少する中、業務筋等の引きが強かったことから、平年を大幅に上回った。 ● 1月は、平年をやや下回った。 ● 2月は、平年を大幅に上回った。 ● 期間全体としては、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:138%)

(参考1) 平成28年産冬キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	入荷量対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	107	95	103	108	92	100	89	111	95	88	85	90	97
過去5年平均比	100	98	109	113	100	109	103	120	105	100	91	92	
	101			100			99			87			

	卸売価格対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	198	216	212	176	204	228	218	170	170	191	190	190	196
過去5年平均比	297	246	161	149	134	118	94	93	100	122	132	266	
	207			200			180			193			
	232			132			95			124			

(参考2) 平成28年産冬キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

2. 平成28年産秋冬だいこんの需給・価格の実績

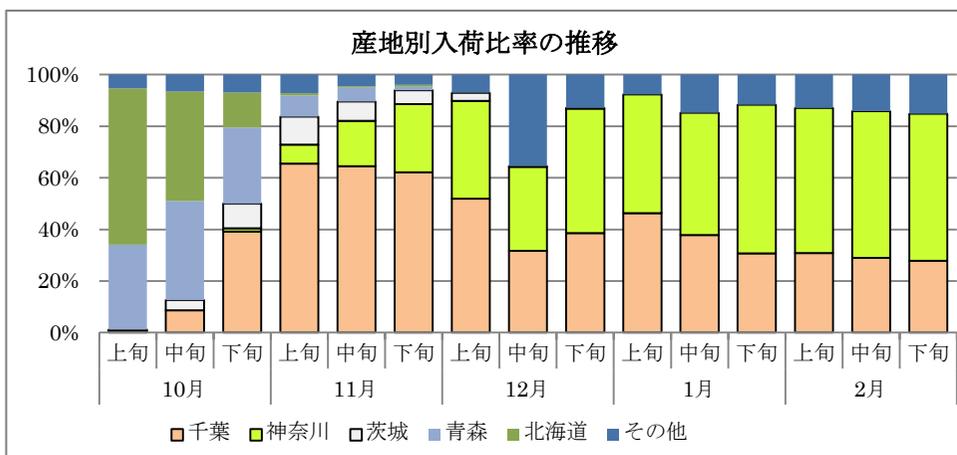
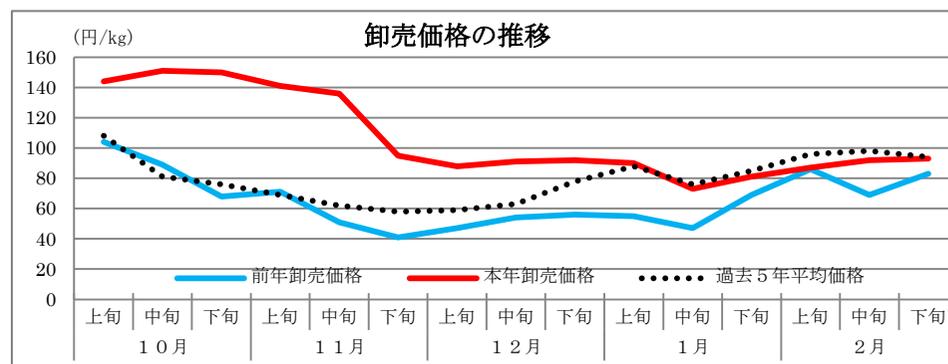
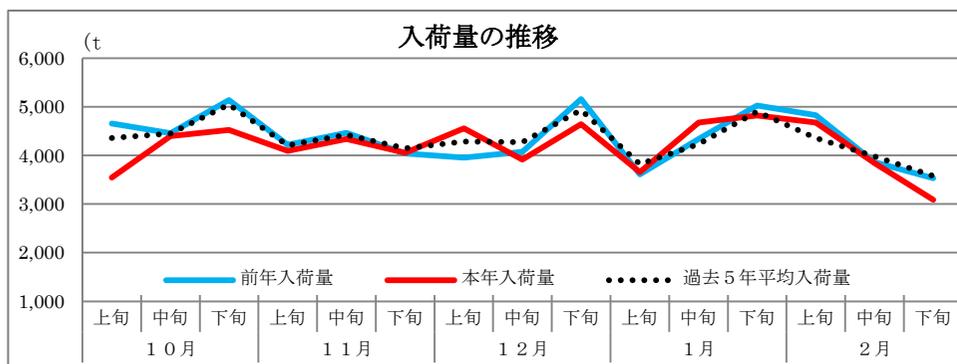
	前回の委員会(28.11.10)での見通し	実績(2月下旬時点)
秋冬だいこん (11～3月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各産地とも生育遅れ気味のため、年内の数量は平年より少ないが、年明け以降は平年並みの出荷となる見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今年の気温は、ほぼ平年並か低いとの予報がでており、鍋物需要の増加の可能性も。ただし、鍋物のメニューに変化が無いため、新たなヒット商品の開発、ーフカット等適量目の拡販がポイント。 ● 9月の長雨と日照不足で生育が遅れている。12月になれば関東近郊が出回ってくるが、他の品目につられて高値になり買い控えが懸念される。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 9月の長雨・日照不足等により肥大不足であり年内は出荷数量は少なめで推移し、年明け回復傾向。このため、価格は、12月までは平年を上回り、1月以降は概ね平年並みとなる見込み。ただし、冷え込みが厳しいと生育の回復が遅れるため、1月以降も平年を上回る可能性。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月は、主産地である千葉産等が、8月の台風および9月の曇雨天の影響による生育の遅れや正品率が低下したことから、総入荷量は平年をわずかに下回った。 ● 12月は、主産地である千葉産が、11月以降の気温の低下により生育が遅れたことから、総入荷量は平年をやや下回った。 ● 1月は、主産地である千葉産が、12月以降天候に恵まれて気温も高く生育は順調であったことから、総入荷量は平年をわずかに上回った。 ● 2月は、主産地である神奈川産が、天候に恵まれ生育は順調であったものの、総入荷量は平年をわずかに下回った。 ● 期間全体としては、平年をやや下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:97%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月及び12月は、平年を大幅に上回った。 ● 1月は、平年をわずかに下回った。 ● 2月は、気温の上昇で引きが弱まり、平年をかなりの程度下回った。 ● 期間全体としては、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:135%)

(参考1) 平成28年産秋冬だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	76	99	88	97	97	100	115	96	90	101	108	96	97	100	87	96
過去5年平均比	81	99	90	97	98	98	106	92	94	96	110	98	107	97	86	
	87			98			99			101			95			
	90			98			97			102			98			

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬													
前年比	138	170	221	199	267	232	187	169	164	164	155	117	101	133	112	160
過去5年平均比	133	186	197	204	219	164	149	144	118	102	96	95	91	94	99	
	173			230			170			140			113			
	169			197			134			98			94			

(参考2) 平成28年産秋冬だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

3. 平成28年産たまねぎの需給・価格の実績

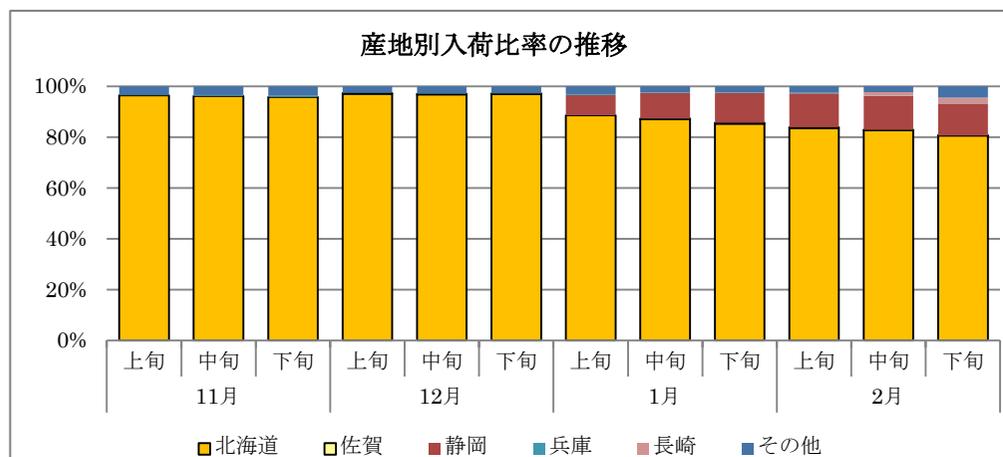
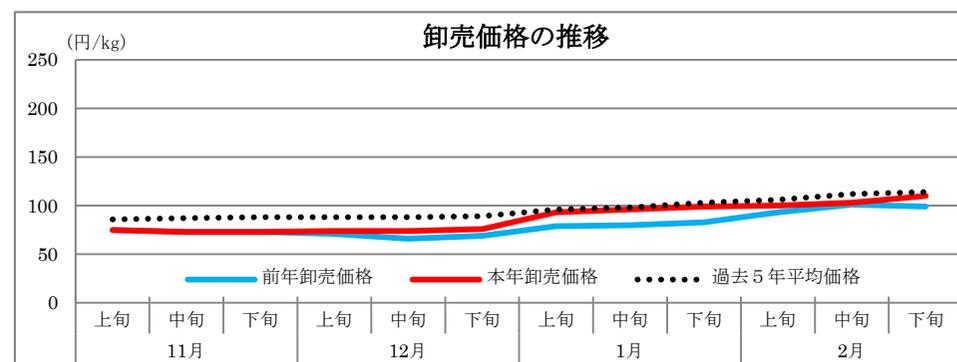
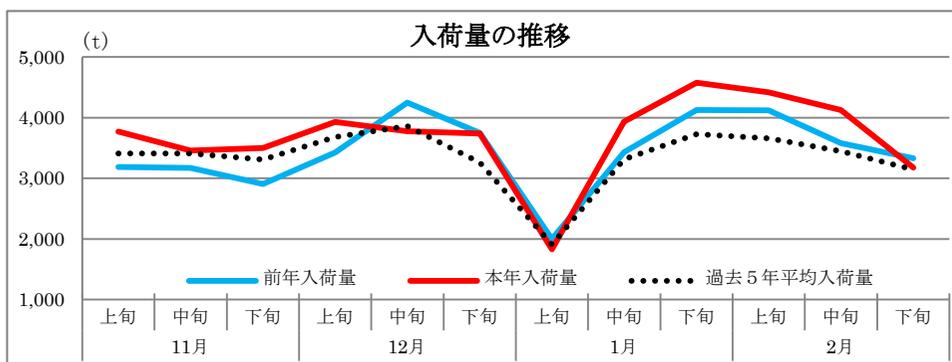
	前回の委員会(28.11.10)での見通し	実績(2月下旬時点)
たまねぎ (11～3月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道の中生・晩生とも出荷期間を通じて概ね平年より多めの見込み。前年同様4月まで潤沢な出荷となる見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今年の気温は、ほぼ平年並か低いとの予報がでており、シチュー等のホットメニュー需要での増加が見込まれる。 ● 主産地の北海道産は、台風の影響(作柄は良、輸送は振り替え等に対応)は小さくなっているが、貯蔵物の品質劣化が懸念されるため、年明け以降の状況次第では中国産を含めた海外産に需要がシフトする可能性がある。また、値頃品であるバラ売り・均一規格が不足する懸念があり、小玉規格限定で輸入調達もありうる。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 入荷の大部分を占める北海道が、8月の台風で一部被害があったが豊作傾向であり、価格は平年を下回る見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月及び12月は、入荷の大部分を占める北海道産が、8月の台風により収穫の遅れや一部の圃場での土壌流亡などが発生したものの、作柄は良好だったため平年をやや上回った。 ● 1月及び2月も、入荷の大部分を占める北海道産が、作柄は良好だったため平年をかなりおおきく上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:110%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月及び12月は、平年をかなり下回った。 ● 1月及び2月は、平年をやや下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:91%)

(参考1) 平成28年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	118	109	120	115	89	100	92	115	111	107	115	95	107
	116			100			108			106			
過去5年平均比	111	101	106	107	98	115	96	119	123	121	120	101	110
	106			106			116			114			

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬										
前年比	100	100	100	104	112	110	118	120	119	108	102	111	109
	101			109			120			106			
過去5年平均比	87	84	83	84	84	85	97	98	96	94	92	96	91
	86			85			97			95			

(参考2) 平成28年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

4. 平成28年産冬にんじんの需給・価格の実績

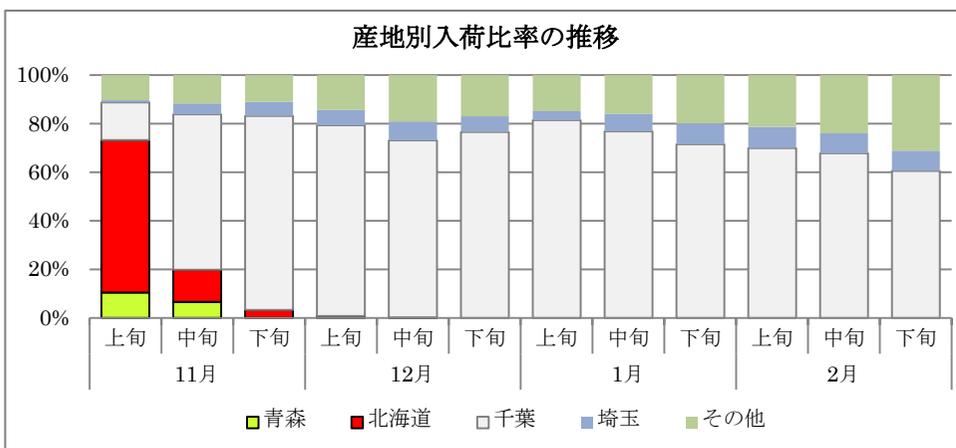
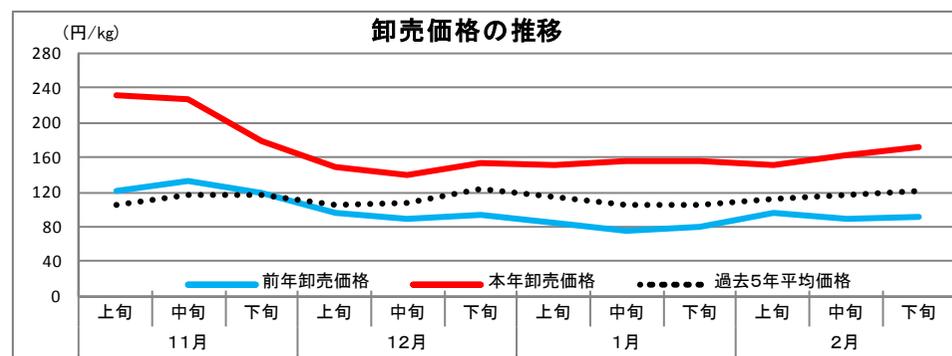
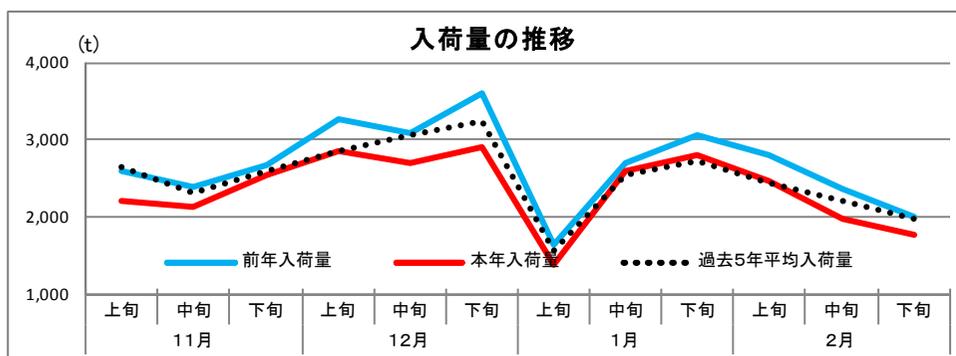
	前回の委員会(28.11.10)での見通し	実績(2月下旬時点)
冬にんじん (11～3月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月下旬の台風で播種後に流された圃場があったことや、9月の長雨・日照不足等の影響で生育は遅れている。天候の回復にともない生育は回復する可能性も見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今年の気温は、ほぼ平年並か低いとの予報がでており、シチュー等のホットメニュー需要での増加の可能性はあるものの、天候不順による高値継続予測で、買い控えが懸念される。値頃品に関しては輸入調達も考えられる。 ● 例年11月頃から関東近郊産地が出回るが、今年は生育が悪く、病気も発生しており出荷数量の減少が見込まれる。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台風・長雨・日照不足の影響で、出荷期間を通じて平年を下回る見込みのため、価格は、出荷期間を通じて平年を上回る見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月は、北海道産が8月の台風の影響による腐敗などにより歩留まりが低下し、千葉産は8月、9月の天候不順の影響による生育が遅れたことから、総入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 12月は、入荷の大部分を占める千葉産が、8月、9月の天候不順の影響により細物が多めであったことから、総入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 1月は、入荷の大部分を占める千葉産が、8月、9月の天候不順の影響による苗の流亡などの影響が残ったことから、総入荷量は平年をわずかに下回った。 ● 2月は、入荷の大部分を占める千葉産は、10月以降は天候に恵まれて生育は順調であるものの、8月、9月の天候不順の影響による苗の流亡などの影響が残ったことから、総入荷量は平年をやや下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:94%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月～2月は、平年を大幅に上回った。 (8月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:149%)

(参考1) 平成28年産冬にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	85	90	95	88	88	80	84	96	91	89	84	89	88
	90			85			91			87			
過去5年平均比	83	93	98	100	88	90	89	101	103	102	90	90	94
	91			93			99			94			

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬										
前年比	193	171	150	155	156	162	181	204	196	158	180	189	173
	170			157			196			175			
過去5年平均比	220	192	153	142	131	124	132	146	148	136	138	141	149
	185			131			144			139			

(参考2) 平成28年産冬にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

5. 平成28年産秋冬はくさいの需給・価格の実績

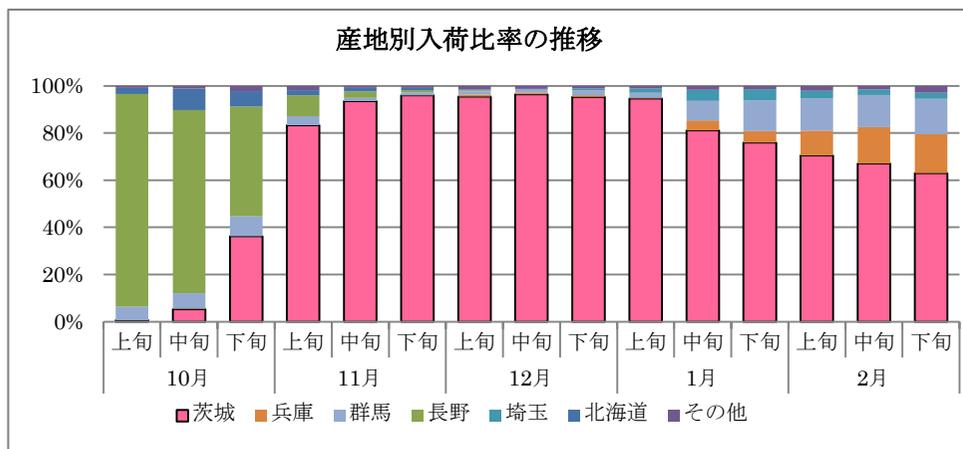
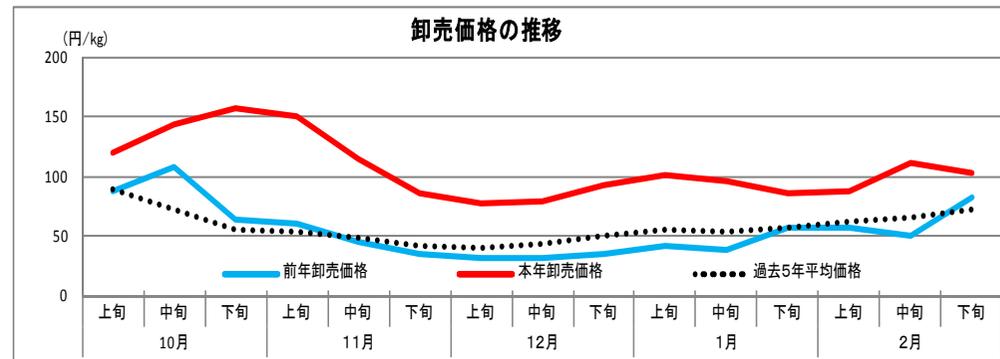
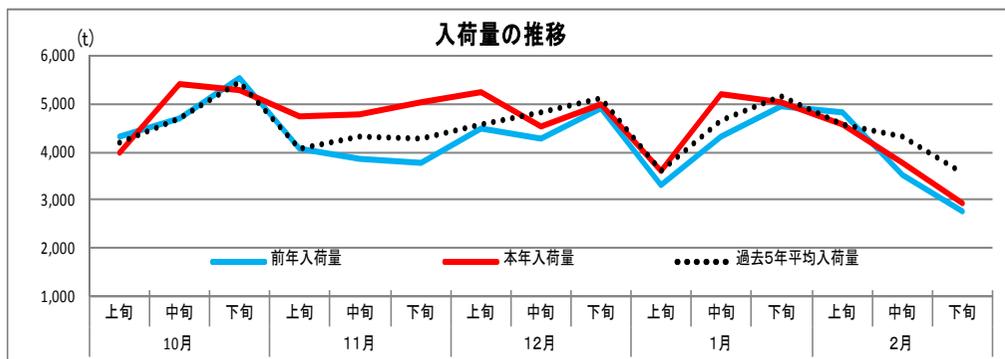
	前回の委員会(28.11.10)での見通し	実績(2月下旬時点)
秋冬はくさい (11～3月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 茨城は概ね平年並みの出荷が見込まれるが、愛知は生育遅れで年内数量は少ない見込み。兵庫は定植遅れと根傷み等の影響で年内の出荷量は少なくなる見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今年の気温は、ほぼ平年並か低いとの予報がでており、鍋物需要での増加を見込む。 ● なお、品薄は12月まで続く可能性もあるが、天候不順による生育遅れは回復しつつある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷については、愛知産や兵庫産が生育遅れ等により少なめと見込まれることから、価格は、12月までは平年を上回り、1月以降は平年並みを見込む。ただし、播種・定植作業が遅れたほ場の生育の回復が遅れた場合や、前倒し出荷により残量が少なくなった場合には、1月以降も平年を上回る可能性。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月～1月は、入荷の大部分を占める茨城産が、9月の曇雨天による生育の遅れにより出荷量が減少する中、業務筋等の引きが強いため総入荷量は平年を、11月はかなり大きく上回り、12月はわずかに上回り、1月はやや上回った。 ● 2月は、入荷の大部分を占める茨城産が、最近の気温の低下の影響により生育が緩慢で小玉傾向となっていることから、総入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:103%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月～2月は、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:188%)

(参考1) 平成28年産秋冬はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	92	116	96	116	125	133	117	105	101	109	120	101	95	108	105	109
	101			124			108			110			102			
過去5年平均比	96	116	97	117	111	117	115	94	97	101	112	97	100	88	82	103
	103			115			102			103			91			

	10月			11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬													
前年比	135	133	247	252	253	243	248	247	266	240	253	151	153	222	124	195
	168			247			252			202			160			
過去5年平均比	134	200	287	285	238	207	193	180	182	180	181	151	140	171	143	188
	201			247			184			166			150			

(参考2) 平成28年産秋冬はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

6. 平成28年産の冬レタス需給・価格の実績

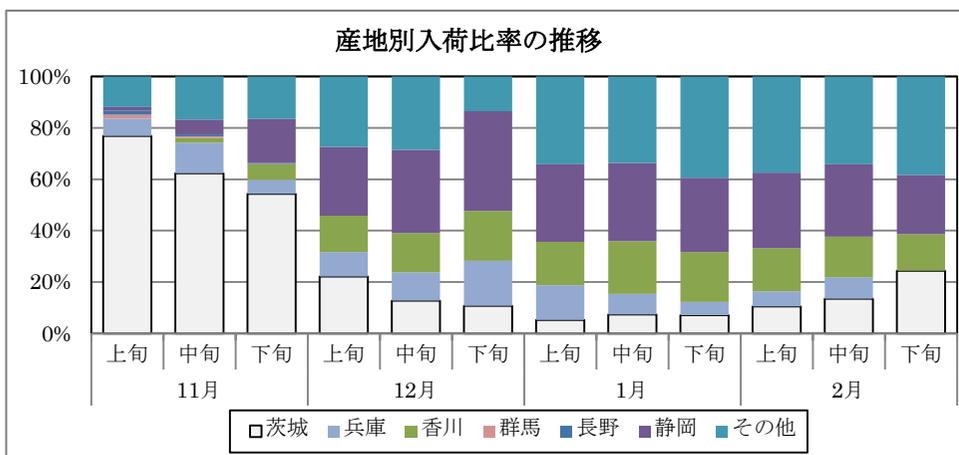
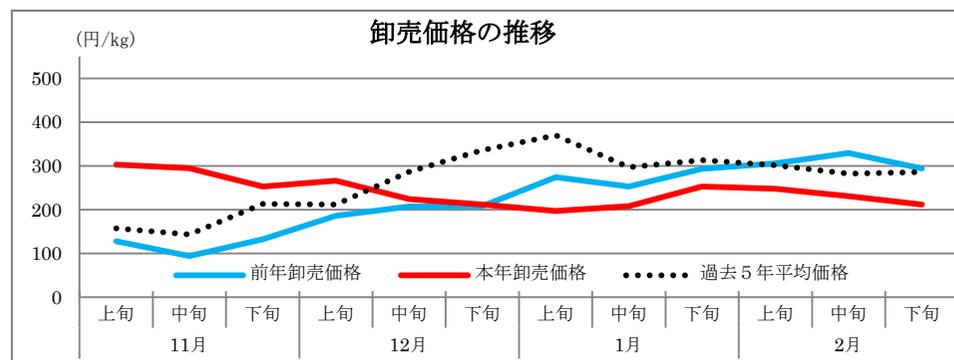
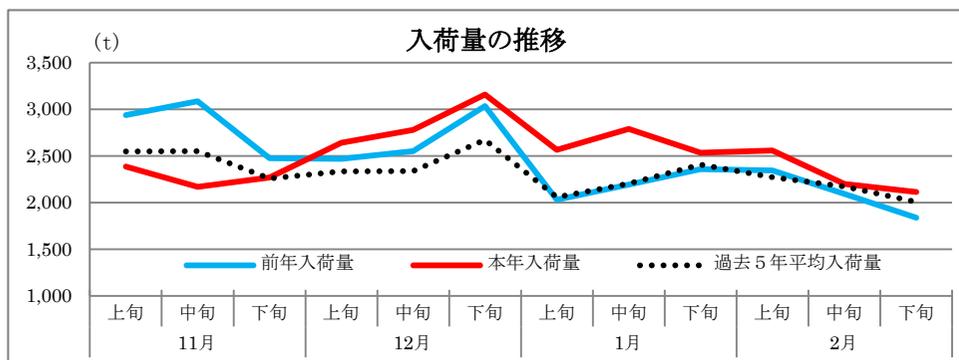
	前回の委員会(28.11.10)での見通し	実績(9月下旬時点)
冬レタス (11～3月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各産地とも作業遅れや生育遅れが見られ、今後の出荷分は、12月上旬頃までは少なめとなり、同月中旬以降分は回復する見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カットサラダ等、簡便化ニーズの高まりは好材料。ただし、昨年は暖冬でサラダ需要が高かったが、今年の実績は、ほぼ平年並か低いとの予報がでているため、楽観視は出来ない。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各産地の生育遅れ等から出荷が12月上旬までは少なめで、12月中旬以降は回復する見込みであることから、価格は11月までは平年を上回るが、12月以降は平年並の見込み。ただし、冷え込みが厳しいと生育の回復が遅れるため、12月は平年を上回る可能性。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月は、入荷の大部分を占める茨城産が、曇天による日照不足や気温の低下により肥大が緩慢であることから、総入荷量は平年をやや下回る入荷となった。 ● 12月は、主産地である香川産が、12月の気温が高めで生育が順調であったことから、総入荷量は平年を大幅に上回った。 ● 1月は、香川産が、9月の天候不順の影響で10月に定植が遅れていた分の出荷と重なったことや、兵庫産が12月の気温高の影響により前進出荷傾向となったことから、総入荷量は平年を大幅に上回った。 ● 2月は、主産地である静岡産が、天候に恵まれて生育は順調であったことから、総入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:108%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11月は、平年を大幅に上回った。 ● 12月～2月は、平年を大幅に下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:91%)

(参考1) 平成28年産冬レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	81	70	92	107	109	104	126	127	107	109	105	115	103
	80			107			120			109			
過去5年平均比	94	85	101	113	119	118	125	127	105	112	101	105	108
	93			117			118			106			

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	237	314	192	143	108	102	72	82	86	81	70	72	111
	243			116			80			75			
過去5年平均比	193	206	119	125	78	63	53	70	81	82	82	74	91
	168			83			67			80			

(参考2) 平成28年産冬レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター